学校番号	3027

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える（山川出版社）						
副教材等	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　ノート（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の知識を得るだけではなく、歴史事象に対して、自ら考え協働して学習していきます。
・授業から得た知識、自ら調べた内容などから歴史的思考力を使って、表現をしてもらいます。グループワークやプレゼンテーションなどによる授業を行います。
・プリントについては板書を書き写すだけではなく、ポイントをまとめ、コメントを書くようにしましょう。
・日々の授業を大切にしましょう。積み重ねが大切です。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を知識として理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に思考・考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論・表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想することができたり、それらを効果的に説明したり、議論しようとている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歴史の扉	身近なものから歴史を考えてみる	a:諸資料を活用し、自らの身近な諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解できる。		プリントワークシート	
	近代化と私たち	(1)近代化への問いと結びつく世界と日本の開国	a:18 世紀のアジア諸国の経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係など資料を通して理解できる。 b:18 世紀の東アジア諸国が、それぞれどのように発展していったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。	考査	プリントワークシート	

		(2)産業革命のはじまりと世界市場の形成、東アジアの変容	a:イギリスで起こった産業革命の内容と、その後の変化について理解する。イギリスから拡大する産業革命が市民革命、世界市場への拡大過程と、世界の諸地域の変容について資料を読み取り理解できる。 b：19 世紀の東アジアが、この地域に進出してきた西洋諸国とどのように関わり、どのように変化していったのかについて、ジグソー法などグループワークなどを行い多面的・多角的に考察し、表現できる。 c：日本と東アジアとの関係だけでなく、世界情勢との関連のなかで、日本の歴史的な立場を考察し、表現できる。	考査	プリント ワークシート	観察 発表内容
2	国民国家と明治維新	(1)帝国主義と植民地 アフリカの分割と自立 植民地支配と植民地の近代	a:帝国主義の資料とともに理解を深め、帝国主義国の植民地獲得競争がおこなわれたのか、また、アフリカへの欧米諸国への進出について学び、概要を理解できる。 b:日清戦争が東アジアの国際秩序にどのような影響を与えたのか、その後の 20 世紀初期、帝国主義に対して、アジア諸国はどのような動きを見せたのかを考察し、理解できる。 c:20 世紀はじめの帝国主義国内の人々の動きや、その当時の国際関係の再編について多面的・多角的に考察し、議論し表現できる。	考査	プリント ワークシート	観察

	国際秩序の変化や大衆化	(1) 第一次世界大戦と大衆社会	a:第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴について諸資料を通じて理解できる。 b:総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制についての問いを表現できる。第一次大戦前から社会の発展とともに大衆化によって、人々の生活がどのように変化したのかについて、自らで調べ、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:第一次世界大戦後、戦争の再発を防ぐためにどのようなしくみがつくられたのか、また、日本の状況を客観的に理解できる。	考査	プリント ワークシート	観察 発表

		(2)経済危機と第二次世界大戦	a:経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを欧米諸国の政治対応やアジアでの対立など諸資料を通して、国際協調体制の動揺を理解できる。 b:国際協調体制の動揺のなかで、アジア・アフリカ諸国の人々がどのように自立化を模索し、大衆運動を活発化させていったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:日本がどのような経緯で日中戦争をはじめ、また、それがヨーロッパの動きとどのように関わり合っていたかについて、自らの調べ、考察できる。	考査	プリント ワークシート	観察
3	国際秩序の変化や大衆化	(3)第二次世界大戦と敗戦処理と新たな国際秩序の形成	b:第二次世界大戦がどのようにはじまり、どのように拡大したか、また、日中戦争やアジア太平洋戦争とどのように結びついたのか、また、戦後の国際秩序のもとで、連合国による枢軸国の占領政策がどのように行われたのかを諸資料を通して、多角的、多面的に理解し表現できる。 c:日本が日中戦争から太平洋戦争に拡大する過程や戦後の染料政策が現在の社会にどのようにつながっているのかを考察し表現できる。		プリント ワークシート	観察 発表

	グローバル化と私たち	(1)冷戦と世界経済	a:地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響、日本の戦後の発展、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、理解できる。 b:冷戦が拡大しながらも共存していく過程や、そのなかでアジア・アフリカ諸国に独自の動き、また、ベトナム戦争にあるように民族の争いに対する欧米諸国の介入など、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。	考査	プリント ワークシート	
		(2)国際秩序の変容と21世紀の世界	a:冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響、グローバル化が進む世界について、歴史的な振り返りを含め理解できる。 b:アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多角的、多面的にとらえて表現できる。 c:歴史を概観するなかで、現在の日本の状況を客観的に理解し、グローバル化が進む社会へ自らがつながる意識をもって意欲的に学ぶことができる。	考査	プリント ワークシート	観察 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度